

ななかまど

一般社団法人 猿払ななかまどの会 会報

令和3年9月1日(水)

第38号

発行：一般社団法人

猿払ななかまどの会 事務局

ななかまどの会は障がい者の社会参加を応援している公益法人です。

猛威を振るうデルタ株

ついに北海道に3回目の緊急事態宣言が出されました。宗谷管内でも一人二人とポツポツ

感染者が出ています。もう新型コロナウイルスが流行してから1年半以上経ち

9月12日には先が見えるのか？

ますが、最初のうちは「宣言」が出たら（これはたいへんだ）と三密を避けたり「不要不急の外出はしない」、飲食店の時短などの努力で患者数は明らかに減っていましたが、今は「宣言」でがでても人流が極端に減るわけでもなく、感染者があちこちで過去最高数出てしまっ、入院もできず自宅療養でなくなる人まで出てしまいました。感染爆発としか言い様がありません。

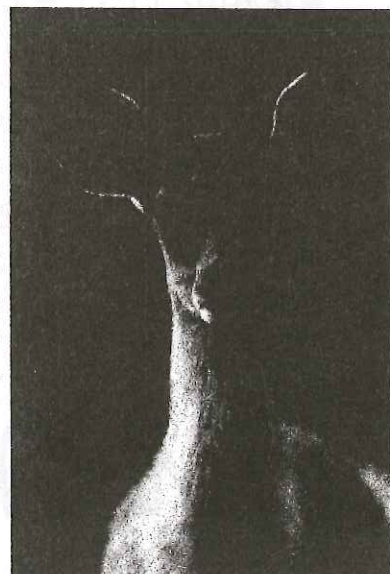
新型コロナは「若い人にはかからない、かかっても重症化しない」、また、「ワクチン打ったから大丈夫」、と気が緩んでしまったところに「デルタ株」なる変異ウィルスが出現し、おまけに「国民の安心安全を一番に考えて」といいながら東京オリンピックを開催したのだから「なんだ安全なんだ」と警戒心をなくしたことでここまで広がったんだろうと考えています。

正直私（筆者）も「ワクチン2回接種したしもう大丈夫」と思っていました、が、「デルタ株」の特徴は、1、感染力が強い 2、子どもも若い人も罹る 3、重症化しやすい 4、ワクチン接種者も罹る ということです。しかも、どこでうつったのかもわからない人が増えていますから、コロナ感染症の状況はさほど変わってはいないのです。このまま経過すると「宣言」が解除される9月12日以降も、今の生活スタイルは変わらないんだろうと考えます。「マスクの着用」「人との距離をとる」「換気をする」「手洗い消毒をする」「不要不急の外出はしない」あと最低1年は間違いなく続くようです。

今年、鹿多くないですか

放課後塾のある鬼志別南町の空き地にちよくちよく鹿が出没しています。春先は雄鹿と雌、子どもと家族で来ていたのですが、最近母子です。人がいようが車が通り過ぎようとお構いなしに草を食べています。草ならいいのですが家庭菜園を荒らされた話も聞きます。明治時代にオオカミが絶滅して天敵がいなくなったエゾシカは増え放題です。害獣駆除の対象ですが猿払のハンターも高齢化してなかなか駆除されないようです。仕留めた後の死骸の処理も大変だと聞きました。私はこれまでに2度鹿と衝突した経験があります。そのたびに多額の修理費がかかりました。猿払に住み続ける限り「またあるかもしれない」と車両保険に入りました。

皆さんもどうぞご注意ください。



職場実習が始まります。8月30日～10月1日



現在紋別高等養護学校3年に在学中で猿払村出身の生徒Sさんが、8月30日より5週間猿払ななかまどの会で職場実習をします。

来年春に卒業するSさんは猿払村に戻って仕事がしたいと希望しています。その思いをなんとかかなえてあげたいと実習を了承しました。

実習では仕事をする上で必要な様々なスキルを獲得できるよう支援したいと考えています。

まず何といたっても「挨拶」「返事」。そして、食品を扱う職場ですから「衛生管理」。身だしなみや手の洗い方まで教えたいと思います。

Sさんはお菓子を作るのがとても好きで、パン作りだけでなくパウンドケーキやクッキーづくりにも挑戦したいと意気込みを語ってくれました。Sさんの作ったパンは9月3日（金曜日）から毎週金土、楽遊館で販売します。もしかしたらパウンドケーキやクッキーも店頭にも並ぶかもしれません。

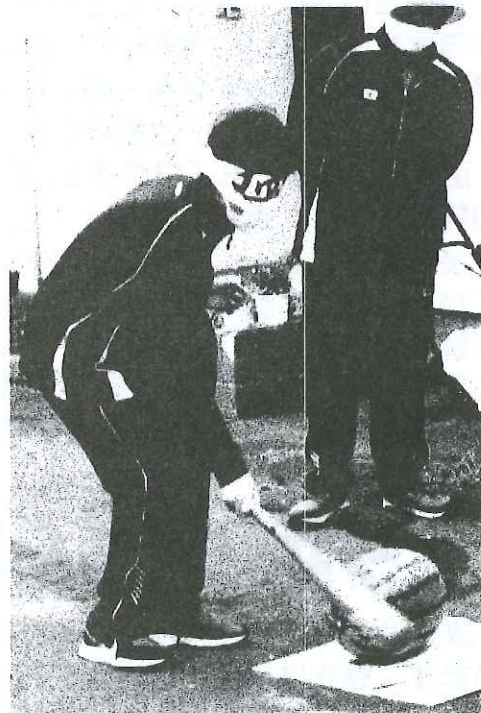
**パン販売は毎週金曜日午後3時からと
土曜日午前9時から 楽遊館**

放課後塾でスイカ割りをしました。

今年の夏は暑い日が続きました。放課後塾では扇風機を回し窓を全開にして「夏休みの宿題」に取り組みました。ほぼ全員宿題はクリアしたようです。

夏休み中といってもお盆があったり親戚のところへ行ったりと忙しく、全員が集まることはありませんでしたが、夏休み明け5人がそろったところで夏の定番「スイカ割り」をしました。叩きすぎて食べるどころがなくなる事はよくある話ですが、今回はそれを回避するためにプラスチックのバットを使いました。友達がスイカの場所を声で教えるのですが、わざとに先生の頭を狙わせたり、本当に「悪ガキ」達でした。

その後みんなでスイカを食べましたが、外で食べるスイカの味もおいしいものでした。今回のスイカは富良野産で差し入れられたものでした。ありがとうございました。



パラリンピックの選手が凄い

痺の方が玉を投げるのですが、運動機能をコントロールするのにどれだけ練習をしたのだらうと思うと涙が出ました。

障がいがあっても社会参加できるぞという迫力を感じています。誰でもそうですが、何か得意なことを見つけてあげると自信もつくし努力も惜しまなくなります。先日ボッチャの試合をテレビで観ました。脳性麻